

日本の発展の、 今日が新たな船出

甘利 明 衆議院議員



4年半前に私は日本の競争力を必ず近いうちに復活させてみせると自分に誓い、知財議連の旗揚げをいたしました。その1年半後に休眠状態であった知財小委員会の小委員長に就任し、これを立ち上げる宣言をいたしました。それから1年半かけて「知財立国宣言」を取りまとめ、政府に提言していただいております。

何十回という会合を重ね、ヒアリングをし、日本が単に高コストの是正競争に向かうだけでは絶対に世界の競争に勝てないはずだ、人間の英知、創造性こそが日本経済を救うはずだ、そう信じて提言を取りまとめ、その中で知財基本法も議員立法で作るという宣言もいたしました。その後の調整で政府がぜひ基本法は当方で作りたいというお話がありました。

仲間の中には、「甘利さんが手掛けたんだから議員立法でやれ」という励ましもずいぶん頂きましたけれども、どっちがみんなが総力戦で一生懸命になれるかということを押掛けてみれば、政府提案でやった方が総力体制になるのは目に見えています。自分のプライドは、ひとつ脇に置いておくこととして、政府がやってくれるならば知財基本



法は政府に譲るということにいたしました。

総理に「知財立国宣言」の提言をお渡しし、そして施政方針演説の中で「知財立国」を、更には国家戦略本部の設置を謳い上げてほしいという要請をし、総理は素直にその通りやってくださったわけでございます。

それから1年半が経ち、いよいよ推進計画が出来上がりました。もちろん、それに先んじて党としても、やるべきことを取りまとめて総理に提言をさせていただきました。思えばあつという間の3年であり4年でありましたけれども、しかしここに明確に日本がかつての競争力を新しい切り口で取り戻すというプランが出来上がったしいであります。まだ現在では予算も人員もこれからの話でありますから、このプランを具体的に実行していくために、しっかりと我々政治の分野でこれをフォローしていきたいというふうに思っております。

きっと5年、10年経ってみれば、そのときの政策があったからこそ今の日本があると言われるようになるはずでありますし、お集まりの皆さん方がまさに日本の競争力を取り戻すこれからの主役として、これからの5年、10年、大活躍をしていただけるかと思っております。

今日が日本の発展の船出であらんことを心からご祈念申し上げます。挨拶とされて戴きます。

PROFILE

甘利 明（あまり・あきら）

昭和24年8月27日生まれ 衆議院議員（自由民主党）

< 主な現職 >

衆議院国家基本政策委員会理事

自由民主党筆頭副幹事長

自由民主党司法制度調査会副会長

自由民主党経済産業部会知的財産政策小委員会委員長

知的財産制度に関する議員連盟会長